



地域を沸かせる小学生サウンド やすぎジュニアブラスバンド (赤江地区)



安来唯一の児童ブラスバンド

「それぞれの楽器の音が一つになったときの気持ちよさは格別です」と話すやすぎジュニアブラスバンドの部長・大和美月さん（赤江小6年）。トランペットやチューバ、トロンボーンといったそれぞれ音域が違う楽器の旋律から生まれる、厚みあるサウンドならではの魅力です。

赤江交流センターを拠点に活動する、安来で唯一の小学生の吹奏楽・やすぎジュニアブラスバンドは、平成24年に赤江小学校の児童らが中心となり発足しました。現在、赤江小、荒島小、社日小、能義小など市内の小中学生13人が所属し、刃物まつりや荒島ミュージックフェスなど地域のイベントで演奏しています。実は部員の半数は去年4月からブラスバンドを始めたばかり。わずか一年あまりで“カノン”“トップオブ・ザ・ワールド”“カントリローロ”など多くの曲を演奏できるようになりました。「最近では楽譜を渡すと2週間ほどで仕上げてしまっんです」とメンバーの吸収力と熱意の高さに指導する齋藤大輔先生も目を細めます。

誰かのために演奏を

練習は週3回。内2回は部員たちが自主的に行っています。トランペットやトロンボーン、ドラムなど各自が担当する楽器は、本人の特性や希望に合わせて先生が決めます。どの楽器も演奏するのに、



▲練習風景。高らかな美しい音色が交流センターに響きます。

かなり体力が必要で、小学生が連続して行うには難しく、決められた90分の時間内で集中して練習します。練習では、互いに教えたり指摘したりする姿が見られ、学校や学年は違えど、部員たちの質の高いものを作ろうとする姿勢が、よい音楽へつながっています。「子どもたちには誰かのために演奏しようと常々話しています。まだ荒さはありますが、ようやく人の心に届く演奏ができるようになった」と齋藤先生。小学生ブラスバンドの奏でるサウンドが地域を心地よく魅了します。

●やすぎジュニアブラスバンド員募集

問い合わせ：赤江交流センター Tel 28-89802

編集後記

安来市の人口と世帯数 H29.4.30現在

人口合計 / 39,636人
(男:18,994人 女:20,642人)
世帯数 / 14,238世帯

▼特集で触れた3010運動さんまるのいちまるを耳にしたのは酒席での締めあいさつでした。よく分からないままに料理を食べ、皆のきれいなお皿を見てその効果に驚きました。宴会での食品ロス削減は、お店からの取り組みが難しく、消費者側からの取り組みが絶対です。「もったいない」を心に留めて皆さんも取り組みませんか。(山)
▼工事が進む総合文化ホールと新安来庁舎の二つの大型事業。市側の建築担当はいずれも女性職員です。ヘルメットを片手に現場を日々、走り回っている姿を見かけます。新築物は間もなく完成です。新しい施設は、女性の視点と感性も反映された利用者にとってやさしい場所となるでしょう。期待しています。(の)

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用